

講義名	卒業研究
講義コード	14049
担当教員	村上 友章
開講期・曜日・時限	通年 月曜日 4時限
備考	

ゼミ
3.学部・学科ゼミ

学部
経済学部、商学部、人間社会学部

学科

演習名
村上友章ゼミナール（現代社会と政治）

概要説明
<p>みなさんが学ぶ「経済」は「政治」と深い関わりがあります。今、その政治が国内でも、世界でも大変動しています。私たちの暮らしにも予測不能な影響を与えているこうした日本政治・国際政治のダイナミズムを一緒に学びましょう。</p> <p>研究演習（3年次） 簡単なフィールドワークを行いたいと思います。調査するテーマは、ゼミで話し合っ決めてもらいます。自分で問題を設定し、その答えを見つけていく楽しさを味わってほしいと思います。</p> <p>卒業演習（4年次） それぞれ興味のあるテーマを見つけて、専門的な学習を進め、卒業論文を執筆してもらいます。</p> <p>なお、当ゼミでは6月と11月に実施される「ニュース時事能力検定試験（N検）」を受験することを推奨しています。</p>

学位
博士（政治学）

教員よりの要望
<ul style="list-style-type: none"> <li>・当然ながら無断欠席は禁止です。授業冒頭の出欠チェックは厳しくのぞみます。</li> <li>・このゼミを通じて、本を読む習慣を身につけてほしいと思います。</li> <li>・このゼミを通して、新聞を読んだり、ニュースを見たりして、社会の動きに敏感になってほしいと思います。</li> <li>・このゼミを通して、他者の意見に耳を傾け、独りよがりでない自分の意見を持つてもらいたいと思います。</li> </ul>

教員英字氏名
Murakami Tomoaki

研究室
研究棟 2706

最終学歴
神戸大学大学院国際協力研究科博士後期課程修了

主な研究活動・社会活動・研究業績
<p>【主な研究活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「戦後日本と国連平和維持活動」に関する政治外交・安全保障研究</li> <li>・「高橋達之助」に関する個人研究</li> <li>・「自衛隊の災害派遣の史的展開」に関する政治・安全保障研究</li> </ul> <p>【主な社会活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人 ひょうご震災記念21世紀研究機構研究会委員（～2014年3月）</li> <li>・公益財団法人 日本国際問題研究所 平成27年度外務省外交・安全保障調査研究事業費補助金（発展型総合事業）「安全保障政策のリアリティ・チェック 新安保法制・ガイドラインと朝鮮半島・中東情勢」研究会委員（～現在に至る）</li> </ul> <p>【主な研究業績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>『国境の海』とナショナリズム。日ソ間昆布採取協定と高橋達之助』『国際政治』170号（2012年）</li> <li>『自衛隊の災害派遣の史的展開』『国際安全保障』41巻2号（2013年）</li> <li>『冷戦終結後の安全保障理事会と日本』、『国際安全保障』43巻4号（2016年）</li> <li>『グローバル・ガバナンスと日本』（共著、中央公論新社、2015年）</li> <li>『戦後日本首相の外交思想』（共著、ミネルヴァ書房、2016年）</li> </ul>

主な卒業論文のタイトル
卒業論文はまだありません。

趣味・特技
・小学校では落語研究会、中学校では卓球部、高校では陸上部、大学時代は演劇サークルに所属していました。

所属
経済学部経済学科

所属学会
日本政治学会、国際安全保障学会、軍事史学会

専門分野
日本政治外交史

選考方法
定員上必要がないがざり、選考はしません。選考をする場合は、基本的にはゼミ志望書の内容で判断し、必要があれば面接を行なうこともあります。

担当科目
政治学、国際関係論、教養基礎（経済と社会）、自己発見とキャリア開発、教養演習、基礎技能C(文章表現 )

備考

評価方法
ゼミへの出席、発表、討論への参加などを総合的に勘案して評価します。もっとも卒業研究(4年次)に関しては、卒業論文を提出しない場合は単位取得を認めません。